

# 平成28年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

区名	西成区
学校名	大阪市立今宮中学校
学校長名	堀端和彦

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成28年4月19日（火）に、3年生を対象として、「教科（国語・数学）に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの学力向上を目指しています。学校の現状や取組の参考にしていただきたいと思います。

## 1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、生徒の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

- (1) 教科に関する調査（国語、数学）
  - ・主として「知識」に関する問題（A問題）
  - ・主として「活用」に関する問題（B問題）
- (2) 質問紙調査
  - ・生徒に対する調査
  - ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の中学校第3学年の原則として全生徒
- ・今宮中学校では、第3学年 55名

## 平成28年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語はA、Bとも全国平均より4ポイントほど低く、大阪市平均と比べても1ポイント程度低い。数学はA、Bとも全国平均とほぼ同じで、大阪市平均より2ポイント程度高い。過去3年で比較しても、おおむね順調に少しずつ上昇傾向にある。

生徒質問紙からは、相変わらず毎日朝食を食べる率は、全国、大阪市平均より低く、基本的な生活習慣に課題があるのだが、「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがありますか」では否定的回答0で、達成感、成就感を実感している部分は非常に心強い。「将来の夢や目標を持っていますか」でも肯定的回答は多く、前向きである。

## 分析から見てきた成果・課題

教科に関する調査より

### 〔国語〕

全国平均に肉薄しつつあるが、A、B問題ともに「書くこと」「書く能力」が若干弱いことが、分析結果から判明した。意見表明や話し合いなど「話すこと、聞くこと」などは質問紙からも充実している様子が窺えるが、情報を収集して、分析し、書いてまとめるなど書くことにも重点をおいた学習を進める必要がある。

### 〔数学〕

今回、ほぼ全国平均並みの結果が出た。A、B問題ともに「関数」は全国平均を若干だが上回っている。評価の観点で言えば「数学的な技能」がほぼ全国並みから少し上である。質問紙「家で学校の宿題をしていますか」で弱い否定的回答が5.6ポイントだけであるところからも、きちんと復習ができているところがこの成果を引き出したのではないかと推察する。

質問紙調査より

基本的な生活習慣に関わる部分では、毎年の事ながら、まだまだ課題を抱えていると言えざるを得ない。加えて、「自分には良いところがあると思いますか」では、全国平均に比べてネガティブな回答が多い。自信がない。一方では「将来の夢や目標を持っていますか」では「当てはまる」の回答は全国平均より高い。夢や希望はしっかり持っている。これを確たるものとしてできるように支援し、育てていくことが大切であると考え。携帯・スマホを使う時間、学習する時間など大きく二つに分かれている。学習時間の少ない方の子どもたちをいかに学習に向けさせるかの工夫を進める必要がある。

## 今後の取組

質問紙調査の所でも述べたように、本校の生徒は得意層と苦手層に分かれている。毎日一定の時間きちんと学習するものもいれば、家ではほとんど学習しない生徒もいる。後者の学習が苦手、家庭での学習がほとんどできていない生徒に対する対策が非常に重要であると認識している。これまでも、家でできないなら、学校にいる間にできるだけきちんと学習させるという方針で取り組んできているが、なんとか全国平均に近づきつつある現在、次へのステップとして、積極的に学習に参加する気持ちを持たせるような、授業のあり方の工夫が必要であると考え。授業のユニバーサルデザイン化についてもより推進し、これから求められる「主体的・対話的で深い学び」へと繋げていきたい。そのためにも、ICT機器の活用は重要な手段になり得ると考える。

## 【 全体の概要 】

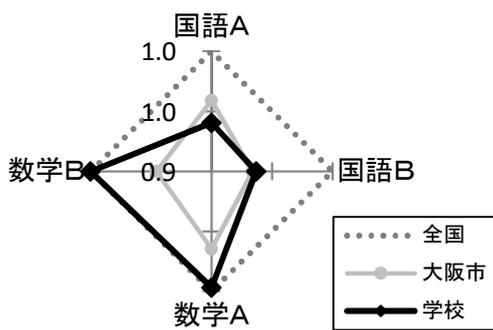
### 平均正答率 (%)

	国語A	国語B	数学A	数学B
学校	71.1	62.3	62.0	44.1
大阪市	72.5	62.1	60.0	41.7
全国	75.6	66.5	62.2	44.1

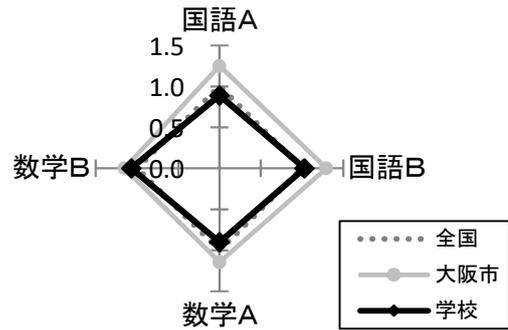
### 平均無解答率 (%)

	国語A	国語B	数学A	数学B
学校	1.8	4.5	5.7	15.7
大阪市	2.5	5.7	7.2	16.9
全国	2.0	4.4	6.3	14.7

平均正答率 (対全国比)



平均無解答率 (対全国比)



## 【 国語 】

### A 問題

平均正答率(%)

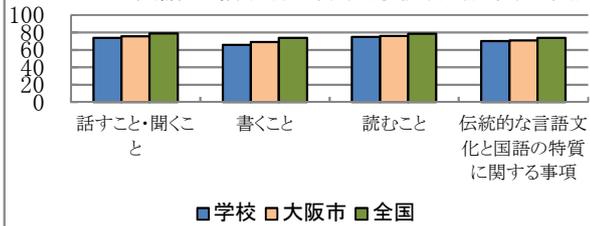
学習指導要領の領域等		項目	平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	6	73.6	75.7	78.9
	書くこと	4	65.6	69.1	73.7
	読むこと	6	74.8	76.0	78.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	17	70.1	71.0	73.9

### B 問題

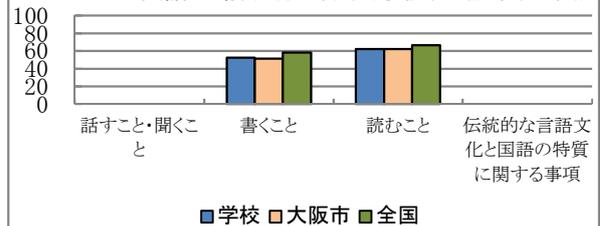
平均正答率(%)

学習指導要領の領域等		項目	平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	—	—	—	—
	書くこと	3	52.5	51.3	58.3
	読むこと	9	62.3	62.1	66.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	—	—	—	—

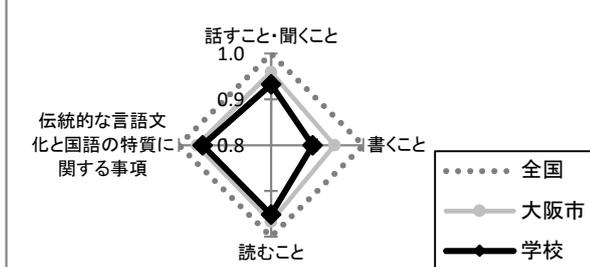
国語A 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



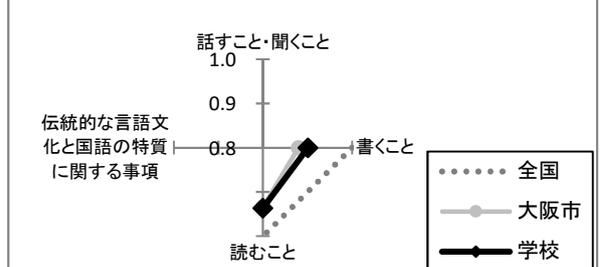
国語B 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語A 領域別正答率(対全国比)



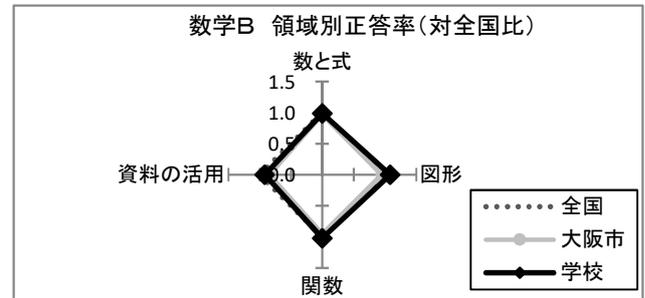
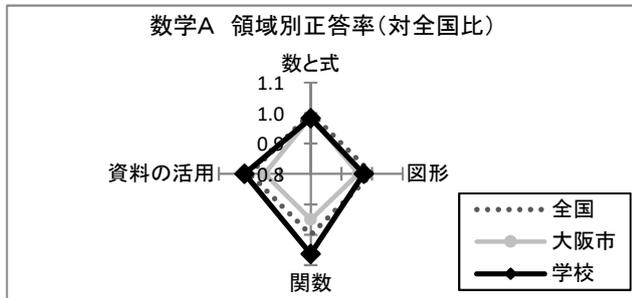
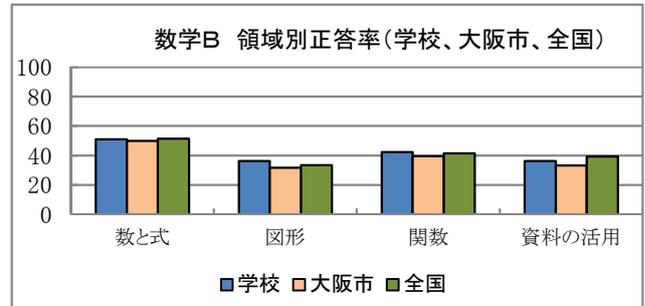
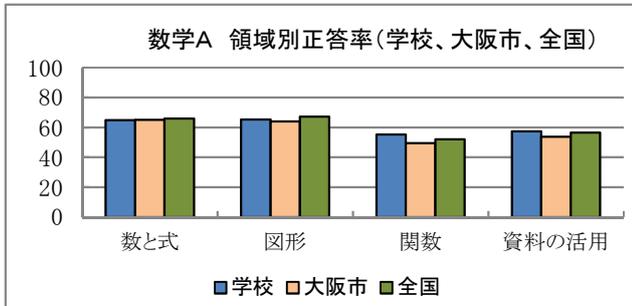
国語B 領域別正答率(対全国比)



# 【 数 学 】

A 問題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	数と式	12	64.8	65.1	65.9
	図形	12	65.3	64.1	67.1
	関数	8	55.3	49.4	52.0
	資料の活用	4	57.4	53.7	56.5

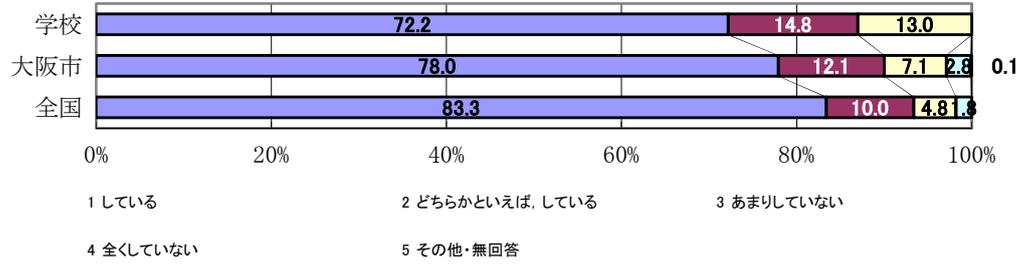
B 問題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	数と式	6	50.9	49.8	51.5
	図形	2	36.1	31.6	33.3
	関数	5	42.2	39.5	41.4
	資料の活用	2	36.1	33.1	39.3



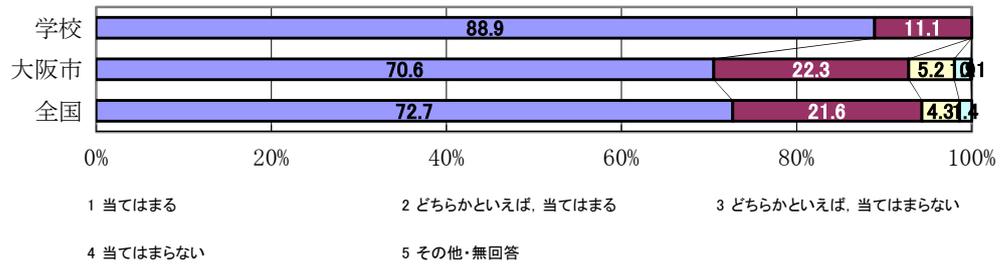
# 生徒質問紙より



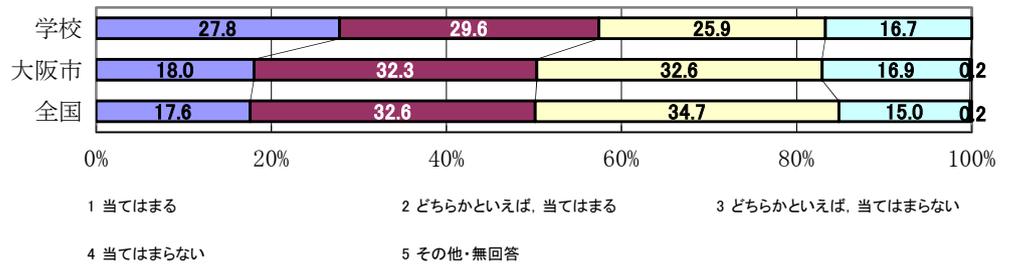
質問番号
質問事項
1
朝食を毎日食べていますか



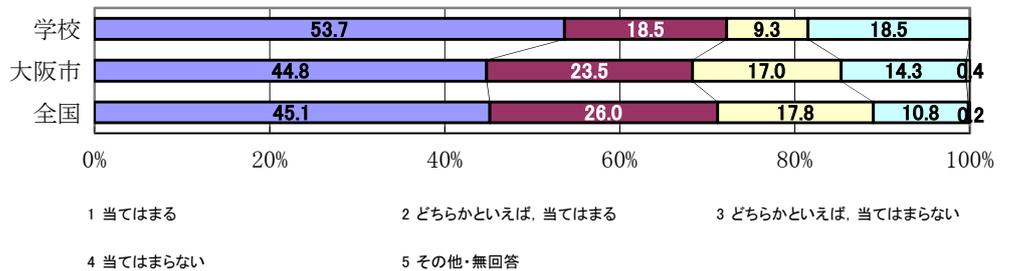
4
ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか



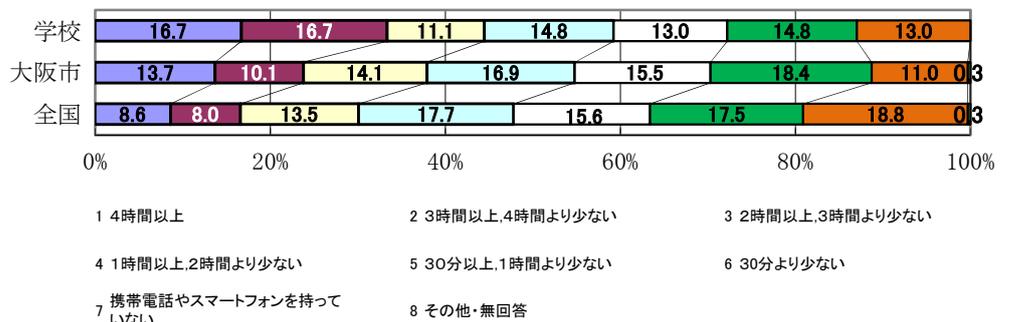
7
友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか



9
将来の夢や目標を持っていますか



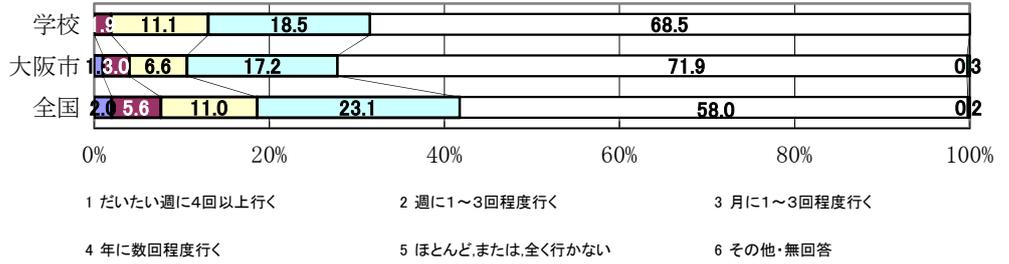
13
普段(月～金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, 携帯電話やスマートフォンで通話やメール, インターネットをしますか (携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)



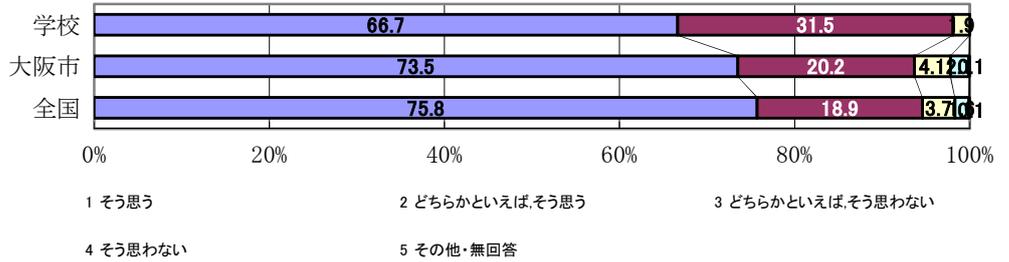
# 生徒質問紙より



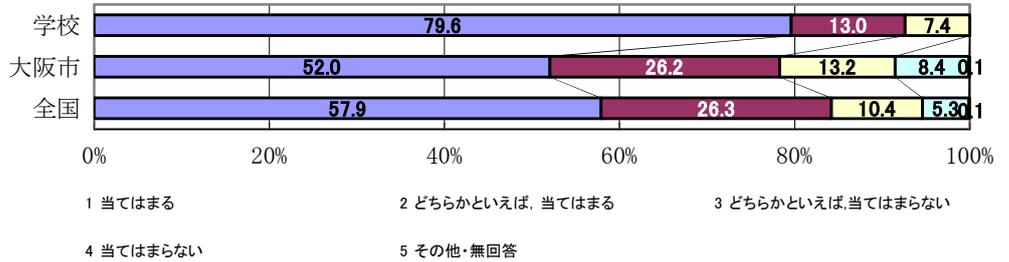
質問番号
質問事項
18
昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか



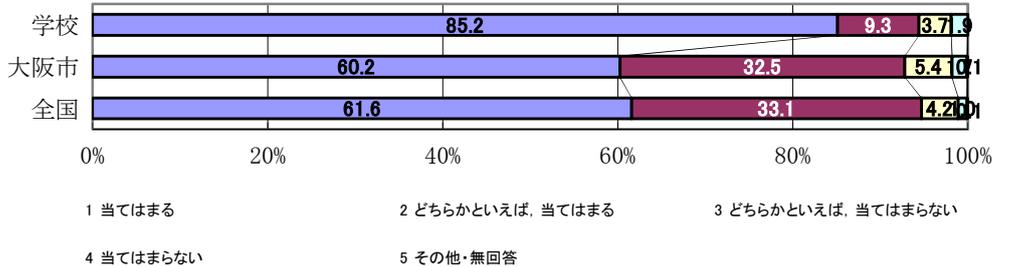
27
学校で、友達に会うのは楽しいと思いますか



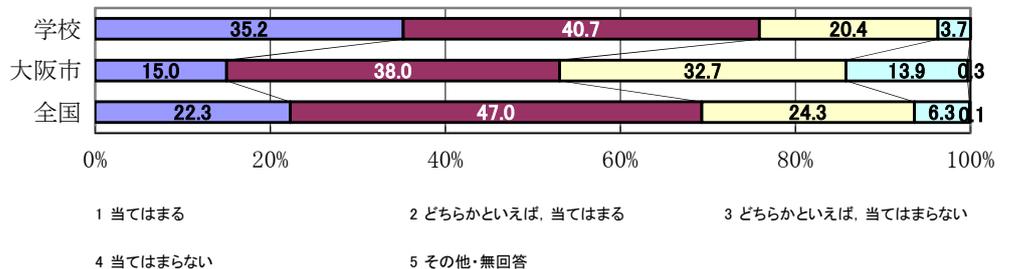
31
学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか



39
学校の規則を守っていますか



50
1, 2年生のときに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか



# 学校質問紙より

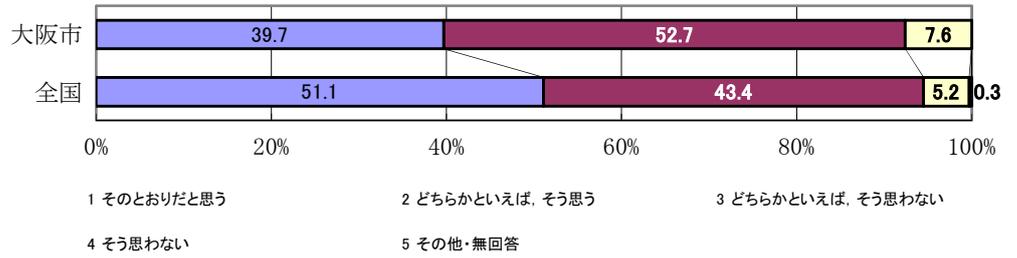
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

質問番号  
質問事項

15

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

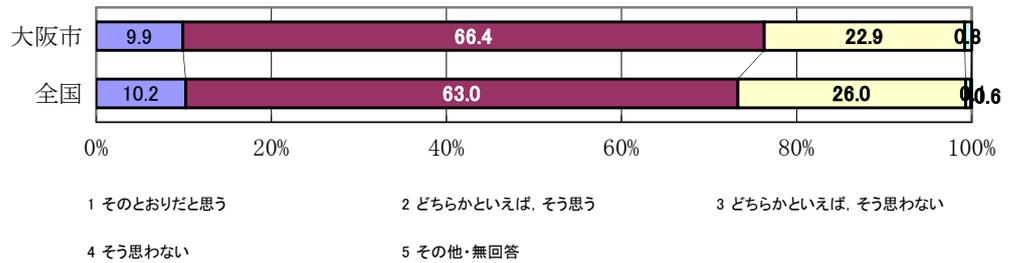
## 学校「どちらかといえば、そう思う」を選択



17

調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

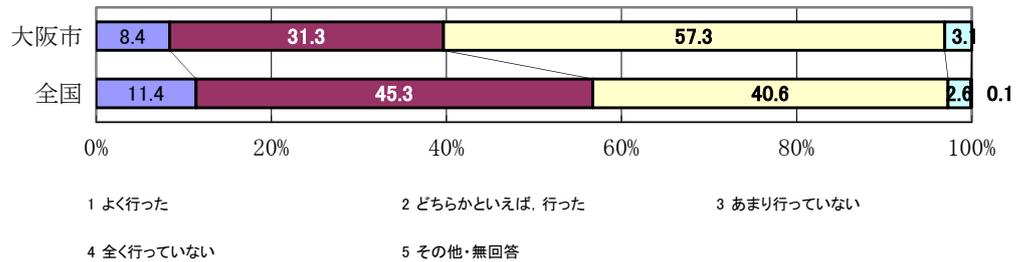
## 学校「どちらかといえば、そう思う」を選択



56

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、コンピュータ等の情報通信技術(パソコン(タブレット端末を含む)、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す)を活用して、子供同士が教え合い学び合うなどの学習(協働学習)や課題発見・解決型の学習指導を行いましたか

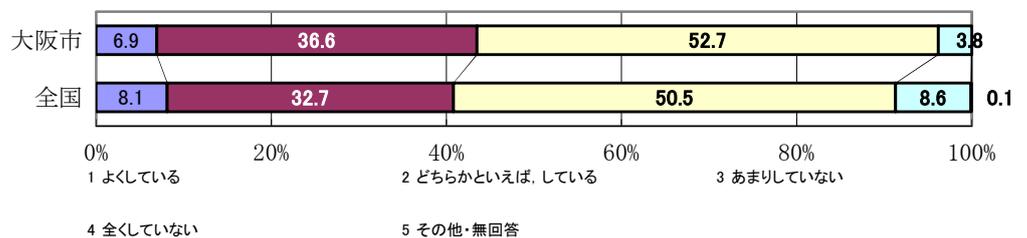
## 学校「よく行った」を選択



106

コンピュータ等の情報通信技術を活用して、子供同士が教え合い学び合うなどの学習(協働学習)や課題発見・解決型の学習指導を学ぶ校内研修を行っていますか

## 学校「よくしている」を選択



112

学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか

## 学校「よくしている」を選択

